



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 27-07

1月号

発行 2025 年 1 月 16 日

Chartered 1998

会長 利根川 太郎 クラブ会長主題 「原点に戻って、川越 YMCA を支えよう。」
 副会長 松川 厚子 国際会長: A. Shanavaskhan シャナヴァスカーン(インド)
 会計 吉田 公代 主題 Together for better world より良い世界のために、共に
 書記 吉野 勝三郎 スローガン Arise and Shine 日本語訳: 立ち上がろう、そして輝こう
 アジア太平洋地域会長 ジョーン・ウオン (香港)
 主題 大きなインパクトを起こそう
 東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)
 主題 ワイズの方向性を見極める
 関東東部部長 山本 剛史郎 (川越)
 主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない!

1月の聖句

・ヨハネの手紙一 5:14-15

わたしたちが神に対していただいている確信は、こうである。すなわち、わたしたちが何事でも神の御旨に従って」願ひ求めるなら、神はそれを聞いてくださるということである。

そして、わたしたちが願ひ求めることは、なんでも聞き入れて下さるとわかれば、神に願ひ求めたことはすでにかなえられたことを、知るのである。

We have courage in God's presence, because we are sure that he hears us if we ask him for anything that is according to his will.

He hears us whenever we ask him,; and since we know this is true, we know also that he gives us what we ask from him.

(I John 5: 14-15)

12月統計(12月14日・21日)

出席者 9名 出席率 90%

2025(令和7)年の年頭に当たって

会長 利根川太郎

皆様、明けましておめでとうございます。ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私たちは新年を伊豆で迎えました。太平洋側では、昨年末から冬晴れの日が続いて、雲一つない相模灘に、伊豆大島の向こうから登る初日の出を拝むことができました。昇る朝陽に向かって今年が良い年になるようにと祈念をいたしました。

2025年は乙巳(きのと・み)です。「乙」は十干で第二位にあたり、困難があっても紆余曲折しながら進むこと、しなやかに伸びる草木を表しているそうです。また、「巳」は脱

皮する蛇のイメージから再生と変化を意味するということです。この二つの組み合わせである「乙巳」は努力を重ね、物事を安定していくといった縁起の良さを表しています。

川越ワイズメンズクラブは、埼玉 YMCA 川越センターと日常の交流を重ね、協力して参りました。その中で、YMCA が抱える課題や困難さにもクラブメンバーの目が向きつつあるように感じています。YMCA の職員の皆さんが、子どもたちのために献身的に働かれていることに敬意を表しますとともに、少しでもできることを協力していきたいと思えます。

また、川越クラブは長くアメリカ・セーラムクラブと IBC 交流をして参りましたが、セーラムクラブが活動を休止している状況です。2025年は、昨年新たに IBC となったフィリピン・パンガシナンクラブとの交流を模索する年になります。さらに、インド・ハイデラバードクラブとの IBC 締結も予定しています。

このように 2025年の川越クラブの活動予定を概観すると、まさに「乙巳」の年に相応しく「再生と変化」を目指して、しなやかに努力する年になると感じています。

努力を重ねて安定していく年となるように、皆様のご尽力ご協力をお願いしまして、年頭のご挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。

川越クラブ 12月例会報告

会長 利根川太郎

新年を迎えて、皆様ご健勝にてお過ごしのことと思えます。

川越クラブは、12月21日(土)に、川越YMCAプログラムに参加する児童生徒とのクリスマス例会、ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加した木本真太郎さんの報告会に引き続き、事務例会を持ちました。

クリスマス例会報告は吉野書記の報告、YVLF 報告は木本君に譲り、ここでは事務例会の概要をご報告します。

1. 2025-2026 川越ワイズメンズクラブ役員について
 - ・会長:利根川太郎、副会長:松川厚子、書記:吉野勝三郎、会計:吉田公代
 - ・ファンド会計:山崎純子、ブリテン翻訳:生川美樹・利根川恵子
2. 3月29日(土)のバス旅行について
 - ・バス27名乗を使用します。
 - ・CS資金申請をして、活動費に充てます。
 - ・旅行先方面は、秩父方面を第1案として蒸気機関車乗車をメインで検討します。
3. BF代表受入について
 - ・川越クラブは1月29日(水)~2月1日(土)に受入をします。
 - ・東武ホテル泊で対応し、担当者を決めてBF代表の対応をします。
 - ・1月31日(金)18:00川越エルミタージュにて歓迎晩餐会を開催します。
4. ハイデラバードクラブとのIBCについて
 - ・IBCを締結することを決定しました。
 - ・調印については、東日本区宇都宮大会かアジア太平洋地域大会で行う予定で、調整します。
5. 2025年世界自閉症開発ディ「小江戸ブルーマルシェ」に出展します。
6. 次期国際会長選挙はヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィックさんに投票します。
7. チャリティ「川越イモ」は49件55箱の申込みがありました。
8. 環境ネットを退会することを決定しました。

以上、主な内容を報告いたします。次回例会は川越YMC Aで1月25日(土)13:30からです。例会後に本の整理を予定しています。皆様、腰を万全に整えてきてください。

2024 例会報告

2024年12月21日 (於)川越センター

1. YVLF (Youth Volunteer Leader's Forum) 出席報告
報告者 木本 眞太郎さん



第36回ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム (Youth Volunteer Leader's Forum) は2024年9月6-8日に東京YMCA 山中湖センターで行われました。今年は、社会問題に目を向けて、ユースグループとして活動を興してもらいたいという願いを込めて行われ、東日本地区から約30名のリーダー有志が集まりました。昨年、熊本YMCAリーダーたち数名が始めたユースアクションの一つで不登校児への取り組みがありました。YMCAらしいユニークな発想で大成功。参加する児童も増えましたが、その何倍ものユースボランティアが増え、ユニークな成果と喜びを感じることができました。そんな取り組みを今年のYVLFで発表してもらいました。YVLFで何かを感じ、それぞれの地で自分たちも何かを始めてみたいというきっかけになることを期待しています。丁度タイミングよく、不登校児への対応プログラム助成金が与えられることになりました。(山田 公平東日本区理事の報告を転記させていただきました。)

私達、川越ワイズメンズクラブは、このYVLFに川越YMC Aから参加した木本眞太郎さんの参加費の一部を援助したことから、当日、本人から報告を聞きました。このようにして、次世代を担う若者の成長のために、間接的にしろ、私たちが関わっていることを知り、大いに励まされました。(吉野 勝三郎 記)



2. クリスマス例会

吉野 勝三郎

まず、クリスマスについて、山本剛史郎さんから聖書に基づく話を聞いて、イエス様の誕生を学びました。その後、ビンゴにより、皆で持ち寄ったプレゼントを交換し楽しい時をすごしました。参加者総数は21名でした。



国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

RDE サミット(次期理事研修会)

利根川恵子

2019年11月14日から19日までワイズメンズクラブ発祥の地、イリノイ州トレドで初めてRDEサミットが開催されました。それまで次期理事研修会(Regional Director Elect)という名称でしたが、現理事、地域会長、次期地域会長、次期地域事業主任などを含め、協議やワークショップを中心に、国際会長、各国際事業主任の方針の説明や喫緊の課題などを理解し、各自の区の運営の準備に資することを目的としています。また、世界のワイズ運動のリーダーが一同に会し、親睦を深めることを大きな目的です。

第1回のRDEサミットが開催されたトレドの11月はすでに非常に寒く、場所によっては雪も降り積もっていて、アフリカ地域や南東アジア区の代表は、寒さ対策が大変だった

のを思い出します。

今年は、来る2月11日から14日まで、インドのトリバンドラムで開催されることになりました。東日本区から出席する山下真・次期理事(十勝クラブ)の要請を受け、私も通訳として同行いたします。トリバンドラムは、2011年にBF代表でインドに派遣された際に受け入れていただいた都市で、知り合いのワイズメンも多く、再訪が個人的にとっても楽しみです。RDEサミットの内容に加えて、私の旧知のワイズとの再会についても次号でお知らせいたします。

「国際の舞台から」、今年も一生懸命書きますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第1回RDE、集合写真 2019年11月、USA、イリノイ州トレド

YMCA 報告

新年あけましておめでとうございます。

昨年も大変お世話になりました。新年を迎え、YMCA 川越センターは1月4日より開館しています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、川越センターの年末年始の放課後デイ冬休みプログラムでは、寒さで子ども達がついつい家にこもりがちになってしまったため、なるべく子ども達が外に出られる機会を取り入れました。「土手滑り&焼き芋」「多摩六都科学館見学」「水上公園で秘密基地づくり」など、どの活動も仲間やリーダーとその場所に行くドキドキワクワクするような活動です。最近では、デジタルゲームの中で仲間と遊ぶことが多くなっていますが、こうしたリアルな体験活動もぜひ仲間と一緒に楽しんでほしいと思います。

また、キャンプでは1月4日(土)~5日(月)に新潟県南魚沼市にて「BigSmile スキーキャンプ&みんな集まれ雪遊びキャンプ」を実施しました。このキャンプは、CCP(Challenged Children Program)の補助を受け、リーダーや仲間との関わりや集団行動を通して社会生活に必要なスキルや生きる力を学ぶ活動です。今回、クローバークラブとアップ(卒業生グループ)に在籍している小学生から成人までの15名が参加をしました。昨年は雪不足で地面が見えていましたが、今年は雪に恵まれスキーや雪遊びを思い切り楽しむことができました。

今年も多くの方々にお力をいただきながら、YMCAの活動を豊かに行っていきたいと思います。

みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。



(編集後記)

2025年最初の「希望の鐘」を発行することができました。毎月発行しているブリテンですが、新年にあたり、わたしたちのクラブのブリテンの題名が特別に新鮮に感じます。

いよいよ、ワイズ年度で、後半に入りました。利根川太郎会長の新年の挨拶にあるように、この6ヶ月間にはいろいろなことが計画されています。どうぞ、日々健康で、充実した時となりますように祈ります。

今年は、このブリテンに10名の会員全員が寄稿できるように工夫したいと思いますので、ご協力下さい。詳細は、次回の例会で相談させて下さい。(KY)